

DTP製品と一体型データ変換ソフト

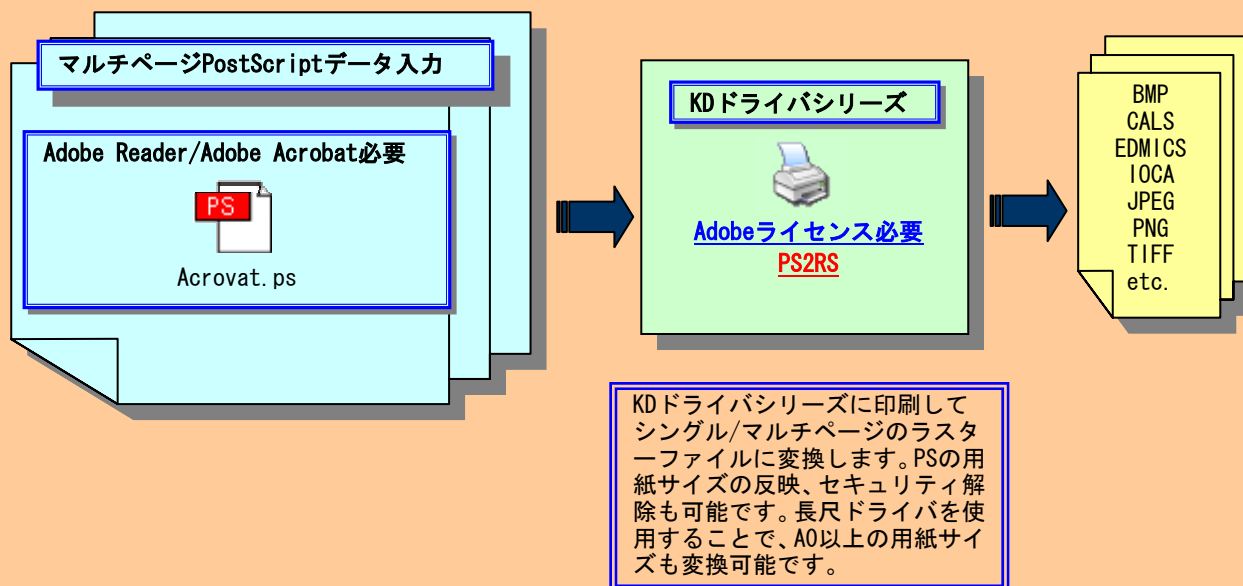


Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町6-3横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

PostScriptデータをKDドライバ/プリンタドライバに印刷することで、各種データに変換します。



◆概要

PostScriptデータを必要なファイルフォーマット(ラスター(イメージ))へ変換します。
出力フォーマットの詳細につきましては、6ページをご覧ください。

入力対応データ

アプリケーション	対応バージョン	ファイル種類(拡張子)
Adobe Acrobat	5.0/6.0/7.0/8/9/X	ps

※上記バージョン以外のファイルについては正式に対応していません。

◆特長

- ・Windowsプリンタドライバ(弊社製品KDdriver)を経由することによって高品質な変換結果を得ることができます。
- ・コマンドライン形式(DOS操作)、GUI形式(画面操作)の双方をサポートしたアプリケーションになっています。1つの製品で両形式使用することができます。システムへの組み込みや、標準機能としてバッチファイルを利用したフォルダ単位の一括変換が可能です。
- ・オプション製品と組み合わせることによって指定フォルダにデータを送るだけであらかじめ設定されたPostScriptデータから各種サポートフォーマットへ自動的に変換を行う自動監視付き変換等が可能です。

◆注意事項

- ・アプリケーションの印刷機能を利用してファイルを作成するため変換するファイルのアプリケーションが必要になります。
- ・出力に関するデータ処理はすべてアプリケーションに依存します。セキュリティ機能によりパスワードを求めるダイアログメッセージを出力し停止するようなデータ等は変換ソフトもその時点で停止するので注意していただく必要があります。
- ・DTP製品と一体型ソフトはWindowsOSの種類によって別製品になります。
WindowsOSごとにプログラムが異なるため、ユーザがインストールする環境のOSに合った製品を購入していただく必要があります。
- ・PostScriptファイルを変換するには、別途、Adobe Acrobat(有償)が必要となります。
Adobe Acrobat使用ユーザはAdobeライセンス規約に準拠する必要があります。

◆製品構成

製品名	概要	定価 (税抜き)
PS2RS	PostScriptファイルをAdobe PDFプリンタを利用してイメージ(ラスター)データへ変換します。PostScriptデータの用紙自動認識対応。 Adobe Acrobat(有償) が必要になります。 本製品はPostScript入力専用となります。	40万円

- ※ PS2RSは、モノクロ版とカラー版の2種類があります。
製品名は同じですが、変換時に使用するKDdriver for Windowsがモノクロ版かカラー版で異なります。
モノクロ版とカラー版同時購入の場合は、上記価格に15万円を加算します。
- ※ Adobe Acrobatの使用ユーザは各メーカーのライセンス規約に準拠する必要があります。

◆動作環境

対応OS : Windows2000/XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7

※Adobe Acrobatの動作環境に依存します。

◆対応表

製品名	ラスター出力	PDF用紙サイズ反映	PDF出力	DocuWorks出力	バーコード情報出力	PostScript入力	長尺出力
PS2RS	○	○	△	×	×	○	×

※PDF出力の項目で△はイメージ化されたPDFの出力を意味しています。

GUI 操作基本画面

プリンタドライバ名
使用可能なドライバー一覧がコンボボックスに設定されています。製品に付属しているプリンタドライバ、または指定されたプリンタドライバを設定します。

**入力ファイル名
出力ファイル名
ログファイル名**

出力フォーマット
出力するフォーマットを選択します。

参照ボタン
(ファイルダイアログで指定)

解像度指定

フォーマットオプション
出力フォーマットがtiffの場合、フォーマットオプションを指定します。

変換するOFFICEのバージョン設定

PDFデータの指定
PDFファイルを変換する場合、用紙サイズの反映、セキュリティ解除についての設定を行います。

シングル/マルチページ出力選択

ps2rs
プリンタ設定

標準プリンタ: KD Raster Driver for WindowsXP(Color) 出力フォーマット: TIFF(LZW)
PDF A0プリンタ: KD Raster Driver for WindowsXP(Color) 出力フォーマット: TIFF(LZW)
100DPIプリンタ: KD Raster Driver for WindowsXP(Demo) 出力フォーマット: TIFF(非圧縮)
200DPIプリンタ: KD Raster Driver for WindowsXP(Demo) 出力フォーマット: TIFF(非圧縮)

ファイル設定
入力ファイル名: 参照
出力ファイル名: 参照
バーコード情報: 参照
ログファイル名: 参照
XMLログファイル名: 参照

出力属性
シングルページ
マルチページ(全て1ページ)
マルチページ(ページ数指定)

ファイル番号
開始: 1
増加: 1
桁数: 1

解像度
ドライバ既定値を使用
解像度変換を行う
XDPI: 400
YDPI: 400

Acrobat設定
SDKを使用する
用紙の回転: 縦横を元の状態で変換
セキュリティ解除設定

用紙サイズマージン
Xマージン: 10
Yマージン: 10

フォーマットオプション
LSBファースト
モノロー形式出力
ページカッティング出力

変換するOFFICEバージョン: Office2000

OK 属性保存 キャンセル

◆GUIからの操作

- ・プログラムを起動すると上記GUIが表示されます。変換に必要な情報を各項目に設定します。設定後、実行(OKボタンを押す)すると変換が開始されます。処理が終了すると、設定内容に従った変換結果(ファイル)が出力されます。
- ・各項目の情報は保存され次回の変換にそのまま使用することができます。
- ・各製品により機能が異なるため、GUIの表示や使用できる項目に若干の違いがあります。

コマンドライン基本操作

基本操作は、[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]より、変換する入力ファイル名、出力ファイル名、変換に関する各種設定情報を入力して実行し、変換を行います。

>実行ファイル名 入力ファイル名 -0出力ファイル名 -各オプション

〈基本形の例〉 入力ファイル(Sample_file.ps)を変換して、指定した出力ファイル(raster.tif)に出力。

実行フォルダに属性ファイル(drv_in.atr)が存在することを確認し、以下のように入力します。

```
C:¥>PS2RS Sample_file.ps -0raster.tif -Udrv_in.atr -LOGtest.log
C:¥>
```

(各パラメータについて)

PS2RS	: 実行ファイル名。
Sample_file.ps	: 変換元の入力ファイル名(入力に対応しているPostScriptデータ)。
-0	: 出力ファイル名を指定するオプションパラメータ。
raster.tif	: 出力ファイル名。
-U	: 属性ファイル名(初期設定:drv_in.atr)を指定するオプションパラメータ。
drv_in.atr	: 属性ファイル名。
-LOG	: ログファイル名(初期設定:err.log)を指定するオプションパラメータ。
test.log	: ログファイル名。

※インストールパスが“c:¥Program Files¥ps2rs”の場合、〈基本形の例〉を実行されると、それぞれ指定されたファイルは、プログラム内部で以下のフルパスに置き換えられて変換を実行します。

入力ファイル名	: Sample_file.ps	→	“c:¥Program Files¥ps2rs¥Sample_file.ps”
出力ファイル名	: raster.tif	→	“c:¥Program Files¥ps2rs¥raster.tif”
属性ファイル名	: drv_in.atr	→	“c:¥Program Files¥ps2rs¥drv_in.atr”
ログファイル名	: test.log	→	“c:¥Program Files¥ps2rs¥test.log”

【PS2RSのコマンドラインからの操作における標準仕様】

- ・変換に関する各種設定(出力フォーマット、シングル/マルチ化、解像度、等)は属性ファイルで行います。属性ファイルとはテキスト形式のファイルです。そのテキスト形式のファイルに変換に関する各種設定情報を弊社で決められた項目に従って記述します。属性ファイル(テキスト形式のファイル)の編集の代わりにGUI(画面)から設定を行うこともできます。
- ・使用するプログラムについてはカレントフォルダ(現在作業中のフォルダ)に対して相対/絶対パスで指定することができます。プログラムをインストールしたフォルダで作業する場合、パス名を省略できます。変換元ファイル(入力ファイル)、出力ファイル、属性ファイル、ログファイルについても同様の扱いとなります。
- ・相対/絶対パスを指定する場合においてパス名に空白(スペース)がある場合には、“ ” (ダブルコーテーション)を使用してください。
- ・「-0」は出力ファイル名を指定するオプションパラメータです。マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、「-0」と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。その他のオプションパラメータについても同様に扱います。
- ・変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。
- ・エラー情報や変換状況をカレントフォルダにログファイル名(err.log)で自動的に出力します。

操 作 例

例1：絶対パスを使用して、任意の変換元ファイル“c:\test\infile\Sample_file2.ps”を出力ファイル“c:\test\outfile\raster2.tif”に変換して出力。

```
C:\>PS2RS "c:\test\infile\Sample_file2.ps" -O"c:\test\outfile\raster2.tif"  
C:\>
```

例2：任意の属性ファイルを作成し、入力ファイル(Sample_file3.ps)を出力ファイル(raster3.tif)に変換し、任意のログファイルにエラー情報や変換状況を出力。

```
C:\>PS2RS Sample_file3.ps -Oraster3.tif -Udrv_in_test.atr -LOG"c:\log\abcd.log"  
C:\>
```

(各パラメータについて)

drv_in_test.atr : 任意の属性ファイル名。

"c:\log\abcd.log" : ログファイル名(絶対パスを指定)。

※任意の属性ファイルは、初期設定の属性ファイル(drv_in.atr)をコピーしてファイル名を変更したファイルや属性ファイルに使用されているパラメータを含む内容のファイルです。

例3：アプリケーションのバージョン情報を出力。

```
C:\>PS2RS -QV -LOGver.log  
C:\>
```

(各パラメータについて)

-QV : 実行ファイル名とバージョン情報を表示するオプションパラメータ。

ver.log : ログファイル名。

※「-QV」と「-LOG」を同時に指定した場合は、指定したログファイルにアプリケーションのバージョン情報を書き出します。

例4：バッチファイルからの実行(フォルダ単位の拡張子による一括変換)。

バッチファイルで記述された内容の実行を実行します。

複数のファイルやフォルダ内のすべてのファイルを一括で変換する場合に使用します。

任意の名称(test.txt)で以下のようにバッチファイル(テキスト形式)を作成します。

・バッチファイルの内容

```
C:\TEST_1\*.ps -O:C:\OUT_1\*.tif  
C:\TEST_2\*.ps -O:C:\OUT_2\*.tif  
C:\TEST_3\*.ps -O:C:\OUT_3\*.tif  
:
```

C:\TEST_1に存在する拡張子がpsのファイルを、すべて拡張子がtifのファイルへ変換します。

C:\TEST_2、C:\TEST_3フォルダ内の拡張子psについても同様の処理になります。

処理の内容は同時に複数の指定を記述することができます。

・コマンドライン入力と画面表示

```
C:\>PS2RS -BATCHtest.txt  
C:\>
```

(各パラメータについて)

-BATCH : フォルダ単位の一括変換を行うために使用するオプションパラメータ。

test.txt : 出力するバッチファイル名。

※「-BATCH」で指定された任意のバッチファイル名(test.txt)の内容に従い処理を行います。

変 換 機 能

主だった変換機能として以下の設定を行うことができます。これらの変換機能はGUI(画面)または属性ファイル(テキスト形式)、オプションパラメータから指定します。

- ・ シングルページ/マルチページ出力指定
- ・ TIFFフォーマットオプション指定
- ・ PS入力処理時、用紙サイズの自動認識指定
自動認識をする場合、入力データの用紙サイズを自動的に判別して出力データへ反映します。
自動認識をしない場合、設定されている用紙サイズで出力します。
- ・ ログファイルの出力
- ・ ページ分割の指定
- ・ バッチ処理(フォルダ単位の拡張子による一括変換)
- ・ ラスターフォーマット指定

出力対応ラスターフォーマット名一覧表(○：出力可、×：出力不可)

フォーマット	モノクロ版	カラー版	FAX仕様版	補足説明
TIFF(ClassF:MH)	×	×	○	マルチページが可能
TIFF(ClassF:MR)	×	×	○	マルチページが可能
TIFF(ClassF:MMH)	×	×	○	マルチページが可能
TIFF(非圧縮)	○	○	○	マルチページが可能
TIFF(PackBits)	○	○	○	マルチページが可能
TIFF(G3_1D)	○	×	○	マルチページが可能
TIFF(G3_MH)	○	×	○	マルチページが可能
TIFF(G3_MR)	○	×	○	マルチページが可能
TIFF(G4)	○	×	○	マルチページが可能
TIFF(LZW)	○	○	○	マルチページが可能
TIFF(JPEG:低品質/中品質/高品質)	×	○	×	フルカラーのみ
TIFF(JPEG:Imaging低品質)	×	○	×	フルカラー(Windows/Imaging専用)
TIFF(JPEG:Imaging中品質)	×	○	×	フルカラー(Windows/Imaging専用)
TIFF(JPEG:Imaging高品質)	×	○	×	フルカラー(Windows/Imaging専用)
XWD(非圧縮)	○	○	○	
SunRaster(非圧縮)	○	○	○	
SunRaster(MMR)	○	×	○	
SunRaster(RLE)	○	○	○	
CALS(G4)	○	×	○	
FAX(MMR)	○	×	○	
FAX(MR)	○	×	○	
FAX(MH)	○	×	○	
IOCA(非圧縮)	○	×	○	マルチページが可能
IOCA(IBM_MMR)	○	×	○	マルチページが可能
IOCA(G4)	○	×	○	マルチページが可能
BMP(非圧縮)	○	○	○	
EDMICS(MMR)	○	×	○	
EDMICS(RLC)	○	×	○	
MIEL(MMR)	○	×	○	
JPEG(低品質/中品質/高品質)	○	○	○	
FX Raster(3色)	○	○	○	マルチページが可能
PNG16:PNG	○	○	○	
GIF	○	○	○	
HP-RTL(非圧縮(line))	○	○	○	マルチページが可能
HP-RTL(非圧縮(block))	○	○	○	マルチページが可能
HP-RTL(PackBits)	○	○	○	マルチページが可能
HP-RTL(MH)	○	×	○	マルチページが可能
HP-RTL(MR)	○	×	○	マルチページが可能
HP-RTL(MMR)	○	×	○	マルチページが可能
PDF	×	○	×	マルチページが可能
PDF(MMR)	○	×	○	マルチページが可能
PDF(FLATE)	×	○	×	マルチページが可能
SVG(PNG)	○	○	○	マルチページが可能
SVG(JPEG:低品質/中品質/高品質)	×	○	×	マルチページが可能
PostScript(Level1)	○	○	○	マルチページが可能(非圧縮)
PostScript(非圧縮)	○	○	○	マルチページが可能(Level2)
PostScript(RunLength)	○	○	○	マルチページが可能(Level2)
PostScript(G4)	○	×	○	マルチページが可能(Level2)
PostScript(JPEG:低品質)	×	○	×	マルチページが可能(Level2)
PostScript(JPEG:中品質)	×	○	×	マルチページが可能(Level2)
PostScript(JPEG:高品質)	×	○	×	マルチページが可能(Level2)
EPSF	○	○	○	マルチページが可能
NON(非圧縮)	○	○	○	

制 限 事 項

PS2RS 変換の制限事項

- ☆多重起動(本アプリケーションを同時に複数実行)することはできません。
- ☆本アプリケーションはログインされた状態で使用してください。ログオフ状態では動作しません。
- ☆PS2RSが異常終了した場合には、各KDdriverの設定ファイル(xxxx.ini)と属性ファイル(drv_in.atr)の内容が変わっている可能性がありますので再度実行する場合はファイルの内容を確認してください。
また、アプリケーションがタスク上に残っている場合はタスクマネージャ等で終了させてください。
また、PARA.TXTが残っている場合は削除してください。
- ☆本アプリケーションは弊社製品、KDdriver for Windowsを使用しています。
ご使用の際には、KDdriver for Windowsの注意事項もご一読ください。
- ☆Acrobat5.0およびAcrobat6.0を使用してのPostScript変換の場合、最大用紙サイズはA0(200DPI)まで有効です。また、点線のパターン長が画面表示と異なります。
A0サイズをカラードライバに出力すると正常に変換できない場合があります。
Acrobat(ver5.0以降)の仕様によりA0(400DPI)の変換は正常に変換されない場合があります。
A0での出力の場合には200DPIで変換を行ってください。
- ☆PostScriptデータの中に線幅がゼロ(極細線)のデータが含まれる場合は、ラスター変換すると線幅=0として扱い、線が消えてしまいます。プリンタ出力やAcrobatでの表示では、線幅がゼロでも線分は最小線幅として扱い、消えないで印刷されたり表示されたりします。
また、点線のパターン長が画面表示と異なります。
- ☆サービス上で起動するとプリンタの権限が与えられていないため、本アプリケーションは用紙サイズの切り替えを行うことができませんので、設定されている規定値の用紙サイズでのみ出力可能です。
- ☆インストールマシン以外のネットワーク上のマシンから、リモート呼び出しによる変換はできません。
- ☆属性ファイルで指定する拡張子と標準入力ファイルのファイル形式が異なる場合、正常に処理することができませんのでご注意ください。
- ☆シングルページでの標準出力を行った場合、先頭の1ページのみが標準出力されます。
- ☆ページ番号を指定して変換することはできません。全ページが変換されます。
- ☆Acrobatの新しいバージョンで作成したPSを古いバージョンのAcrobatがインストールされている環境で変換しようとする、ダイアログが表示されて止まる場合があります。ダイアログを回避して変換することはできませんので、ご注意ください。
- ☆PS2RS動作中にLOGファイル等の関連ファイルへのアクセス(参照、コピー等)は行わないでください。
- ☆WindowsのOSを長時間(数ヶ月単位)再起動せずに使用すると環境によりWindowsの動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windowsを含む利用されるすべてのソフト・ドライバの複合要因であり、このような現象が発生した場合、原因の特定および回避はすべてのアプリケーションが関係するため、対応が不可能です。
長期間連続運用を行う場合、上記の問題が発生することがありますので、定期的にWindowsの再起動を奨励致します。
- ☆-0で指定するフォルダは、既存のフォルダを指定してください。